

〔事業名〕 食品工業経営人材育成事業（仮称）

〔目的・概要〕

道内食品工業は、地域経済において大きなウエイトを占めている一方、経営規模の零細性や経営者の高齢化、後継者不足等が大きな課題となっていることから、食品工業の経営者層を対象に、経営意識の改革や地域資源を活用した製品づくり等を推進するための経営人材育成に重点を置いた取組を展開する。

1 現状・課題等

- (1) 本道の豊かな農林水産資源を背景とした食品工業は、全道の製造品出荷額等の約4割を占めており、地域の経済や雇用の受け皿として、大きな役割を果たしている。
（事業所数36.2%、従業員数48.1%、製造品出荷額36.6%：H20工業統計）
- (2) 一方、人口減少、少子高齢化社会を迎え、国内市場が成熟化する中で、食品に関する安全・安心や健康志向への関心の高まりなど、消費者ニーズがますます多様化していきいているほか、経済のグローバル化の進展に伴って、輸入食品の増加や新商品・新技術開発の活性化が進んでおり、コスト競争もますます激化している。
- (3) このような状況の中、本道の食品工業の活性化を図るためには、前述のような食品工業を取り巻く環境の変化に的確に対応した、付加価値の高い売れる商品づくりに積極的に取り組む企業を輩出することが重要であり、そのためにも、積極的な経営人材を育成することが課題となっている。

2 事業実施の必要性

道では、現在、北海道経済活性化戦略ビジョンに基づき、北海道経済の活性化を支える基盤づくりを進めており、本事業の実施を通じて、道としての道内中小企業者に対する人材育成支援の強化及び当該戦略ビジョンに基づく取組の推進が図られるとともに、「食クラスター」の取組についても推進が図られることから、本事業の実施は必要である。

3 事業概要

食品工業の経営者層の意識改革を図るため、経営課題の抽出や地域資源を活用した製品づくりのポイントなどを整理した基本プログラム及びそれに基づくモデルカリキュラムを作成するとともに、カリキュラムに基づいたセミナーを開催する。

事業内容	
基本プログラム作成	<p>経営者の意識改革を図るための基本的なプログラムを作成する。</p> <p>【経営分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部環境分析のポイント（業界の現状・課題、マーケット動向等） ・内部環境分析のポイント（自社の現状分析等） ・経営理念、経営ビジョンの確認 ・組織の改善、人材育成等のポイント ・中期経営計画策定のポイント 等 <p>【経営革新】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材等を活用したビジネスを成功させるポイント ・地域の食材等を活用した製品開発の進め方 ・地域の食材等を活用した製品の販路開拓の進め方 等
カリキュラム作成	<p>上記プログラムに基づき、地域の食品工業の経営者層がより多く参加しやすく、かつ研修効果が確保されるよう、経営規模などに配慮した複数のカリキュラムを作成する。</p> <p>1日コース〔6時間程度〕：経営環境分析、地域資源活用したビジネスのポイント、事例研究 等</p> <p>2日コース〔12時間程度〕：1日コースに自社製品開発計画立案を追加</p> <p>5回コース：2日コースを基本に、週1回2時間×5週間程度</p>
実証セミナーの開催	<p>上記カリキュラムに基づき実証セミナーを開催し、カリキュラムの効果測定等を行うことにより、地域においてより使いやすく、効果的なカリキュラムの作成を図る。</p> <p>セミナーの開催：上記カリキュラム3コースのセミナーを各1回</p> <p>受講者へのアンケート調査、ヒアリング調査</p>

4 事業効果

セミナーの開催により、食品工業の経営者の意識改革が図られるとともに、基本プログラム、カリキュラムを商工会、商工会議所、業界団体などに提供することにより、地域の実情に応じた息の長い取組として定着することが期待出来る。